

東っ子の到達点と今後に向けて

～平成28年度 1学期末「学校評価アンケート」の結果から～

H28・8・29

東小学校 PTA 会員 様

伊豆市立修善寺東小学校

1学期末「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。アンケート等のまとめを報告いたします。東っ子の到達点（成果）を確認し、今後の課題を明らかにすることによって、本校の教育活動の改善につなげていきたいと考えます。皆様からいただいたご感想やご意見についても掲載しましたのでご覧ください。

(1) 良い結果を示した内容（「よくあてはまる」・「まあまああてはまる」の合計が90%以上の項目）

アンケート調査で「1または2」の評価が90%以上の高評価となった項目は、11項目でした。昨年度2学期末調査と比べて3項目減りました。そのうち、「よくあてはまる（1の評価）」よりも「まあまああてはまる（2の評価）」の方が数値の高い項目は3項目、（1の評価）の方が高い項目は8項目でした。特に高い評価となっている項目について考察をしていきます。

① 24「東小学校は、保護者の協力を得て、読み聞かせや図書室整備に力を入れている。」（99.1%）

（児童評価91.4%）他の学校にはない、本校の特色ある取り組みとして24年度から取り組んでいただいているPTAのみなさんによる読み聞かせ活動の積み重ね、あるいは図書館司書の企画をもとに、図書ボランティアのみなさんのご協力を得て行っている読書環境の整備や読書推進の取り組み（「ビンゴの鉄人」「伊豆市読書百選」「必読書読破」「読書貯金カード」「Xmasカードづくり」等）により、子どもたちの読書意欲が高まっています。さらに昨年度より提唱している修善寺地区統一の「ノーメディアデー」を活用しての「親子読書」「週末読書」の呼びかけの効果も含めて、子どもたちの読書への意欲は増していると思います。さらに1学期末から金曜日放課後の「図書貸し出しボランティア」のみなさんのご協力により、週末読書を推進する環境がさらに整備されました。ふだんは家庭学習、自主学習、習い事等で読書をする時間がなかなか確保できないと思いますが、これから週末を中心に、家族そろって読書を楽しむ光景がふえていくのではないかと期待しています。

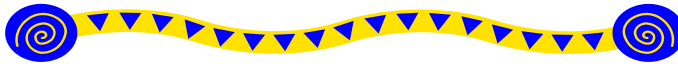
② 14「お子さんは、登下校や自転車の乗り方等、ルールを守った生活ができています。」（99.1%）

（児童評価100%）全校児童は、毎日ランチルームに一堂に会して給食を食べています。片付け後の時間を利用して特に安全に関する情報提供や指導に関する話を担当教師から伝えています。週末には、交通量が増えることに触れ、交通安全の注意事項を繰り返し話しています。不審者情報や子どもたちの安全にかかわる情報が入った場合には、「時を逃さない指導」として、丁寧に状況を説明したり、「いかのおすし」の大切さについて指導したりしています。「自分の命は自分で守る」を基本姿勢として、繰り返し子どもたちに指導していくことで、安全に関する意識を高めていくようにしています。また、ルールや約束を守ることは、集団生活に秩序をもたらし、教育活動の効果を上げるための前提となります。ご家庭でもいろいろな約束を子どもと確認しながら、規則遵守の心情を醸成していけたらと思います。

③ 12「お子さんは、正しくつ箱を使っている。」(99. 1%)

(児童評価100%) 「はきものをそろえると心もそろふ。心がそろふと、はきものもそろふ。ぬぐどきにそろえておくと、はくどきに心が乱れない。誰かが乱しておいたらだまってそろえておいてあげよう。そうすれば、きっと世界中の人の心もそろふでしょう。」

・・・この詩は、昇降口を中心にトイレなど、はきものをはきかえる場所に掲示してあります。トイレのスリッパの整とんは、保健給食委員会の5、6年生が定期的にチェックし、その結果をランチルームで報告しています。整とんすることについての子どもたちの意識は確実に向上しています。6月にはさらに委員会の企画としてトイレスリッパを積極的に整とんする気持ちを育てようと「トイレスリッパ整とん月間」の取り組みを実施し、これも意識付けに効果がありました。みんなが使う場所の整とんは、基本的生活習慣の一つとしてしっかり身に付けさせたいと思います。



④ 7「地域が学校を支援する活動が活発である。」(市内統一項目)(99. 1%)

(児童評価93. 9%) 本年度から本格的、具体的に「コミュニティスクール」(CS) 推進の活動がスタートしました。地域のみなさんの力を借りながら、子どもたちの学習しやすい環境を整えていこうという趣旨です。分野は色々ですが、できるところから手をつけていこうという話し合いが5月の会議で確認されました。さっそく、本立野地区のみなさんを中心に学校敷地周辺の草刈作業をしていただきました。見通しが良くなりとてもすっきりしました。また、以前からご協力をいただいておりますが、2年生や3年生の生活科・総合の学習で取り組んでいる畑の作物栽培のお手伝いを熱心にしていただいております。収穫された作物をうれしそうに家に持ち帰る子どもたちの表情は、にこにこ顔です。このように、地域のみなさんのご協力のおかげで様々な活動が実現しているわけですが、今後も、より多面的なご協力をいただけるようになると、さらに子どもたちの活動の幅が広がると思います。地域のみなさんに支えられて成り立つ東小学校です。

⑤ 20「東小は、教育環境が整えられ、施設等の有効利用ができています。」(98. 2%)

(児童評価100%) 昨年度来、遊具の老朽化に伴う撤去が続いていましたが、新たにジャングルジム(すべり台)と鉄棒の設置が実現しました。鉄棒については校舎に近い場所へ設置されたことにより、以前よりも子どもたちが鉄棒に触れる機会が格段に増えました。休み時間にも逆上がりなどの練習をしたり、ぶら下がって遊んだりする子が多くいます。このように日常的に鉄棒に触ることで腕の力が付き、平衡感覚や回転感覚が養われて、鉄棒の技能が上達すると聞きます。これからも鉄棒にどんどん触ってほしいと思います。今後の予定としてさらに、肋木(ろくぼく)と登り棒が設置されることになっています。(以前要望されていたバスケットボールコートはスペースの関係で設置できませんが) 今後も東小の子どもたちの体力の現状等も考慮しながら設置の必要があるものを検討していきたいと思います。

⑥ 15「東小学校は、交通安全、防災、不審者に備える体制や訓練が十分にできています。」(98. 2%)

(児童評価100%) 今年度は、静岡県防犯アドバイザー協会の方々を講師にお招きし、「あぶトレ(危ない目に遭ったとき、自分の力で危険から逃れるためのトレーニング)」を実施しました。「いかのおすし」「はちみつじまん」「ひまわり」の合い言葉で危険から逃れる方法を学びました。特に、長期休業中は、他県からの観光客も多く来静し、子どもたちへの声かけやつきまとい、更には連れ去り等の事犯も起きないとは言えません。非常事態を想定した訓練は

一度やっておけば安心、というものでもありません。いざというときには、だれでも相当慌て、訓練したことが生きるかどうか分かりませんが、訓練を通して、自分自身で判断し行動する力を付けさせていきたいと思います。自然災害への対応でも、情報収集に基づいた確かな判断と安全確保の方法を決定し、実践する体制を今後もとっていききたいと思います。8月末～9月には、各地域で防災訓練が予定されていると思います。そして9月2日には、「修善寺地区こ小合同引き渡し訓練」も例年通り計画されています。積極的なご参加をお願いします。また、地域には、「かけ込み110番の家」が設置されており、子どもたちも万が一の時には、そういう所に緊急避難するように指導しています。先頃、地区児童会の後、各地区の子どもたちが、「110番の家」にあいさつをして回りました。不審者が出現したときには、情報交換を行い、メール配信等でみなさんにもお知らせしています。自分の身は自分で守ることは前提ですが、地域をあげて子どもたちを守る仕組みも大切にしていきたいところです。よろしくお願いします。

⑥ **8「お子さんは生活上のルールやきまりを守ろうとする気持ちが育っている。」(96. 5%)**

(児童評価97. 4%) 現代社会においては、ルールを守らなかつたり、正直にルールを守って生活したばかりに損な目に遭つたり、というようなことがなくはないですが、ルールを守って生活する習慣や態度を育成することは、社会生活上の基本です。「正直者がばかをみない」社会を形成していく責任は大人にあります。そういう意識は常にもちたいものです。また、小学生の段階から、その基礎部分を育成していくことは当然必要なものです。学校という集団生活をスムーズに、一人一人が安心して安全に過ごすためには、ルールの遵守が根底になければなりません。決まり事は時間とともに、その確認が曖昧になったり、ルーズになったりすることもありますので、折に触れて担当教師から確認の指導を入れるようにしています。確認事項は、全校共通理解で進むようにしています。

⑦ **6「お子さんは、決められた家庭学習を行うことができている。」(95. 7%)**

(児童評価94. 8%) 「東小家庭教育5つのお願い」「東っ子家庭学習の手びき」によって、家庭学習への取り組みが全校的に整備され、取り組む目標時間や学年の系統立った内容が共通理解されて実施してきたと思います。「音読・漢字練習・算数プリント・日記・自主学習」は、学年に応じて基本セットとして毎日必ず取り組むものとして定着しています。また、宿題プリントはその間違い直しをその日のうちにやり切ることにして取り組んでいます。やり切らないうちは、遊ばない約束も守っています。その成果として学力の向上につながっていると言えます。さらに、「はなまるカード」や学級ごとのチェックカードを活用して、ご家庭でのご協力を得ていることも、子どもたちが家庭学習の習慣を身に付けることができている要因と考えます。高学年においては、「自主学習」の内容も多様化し、予習や復習をすることによって、ノートづくりにも成長の跡が見られますし、学習の幅も広がりつつあると思います。身に付いた学習習慣をもとに、授業での理解力、思考力、表現力等の向上につなげていきたいと思います。

⑨ **13「お子さんはクランクぶきをしたり、ほうきで掃いたりして黙って掃除ができている。」(95. 7%)**

(児童評価93. 1%) 「学校磨きは心磨き」・・・年度当初の生活ガイダンスでは、学校経営の大きな柱として、清掃への取り組みを設定しています。清掃活動はただ単に汚れているからきれいにするというにとどまらず、床や廊下を心を込めて磨き上げることを通じて適当にやればいいんだというような安易な気持ちではなく、一生懸命磨いてきれいにするんだという、言わば自分の心を鍛える場面として重要視しています。重点目標「いい目と心で聞きます 話します 磨きます」にも掲げているように、掃除への取り組み(合い言葉は、「黙働」と「クランクぶき」)は、その実現の場の一つとして位置付けられるわけです。本年度、至る所で黙働する子どもたちの姿が見られます。全校に広がってきました。掃除の時間、東小では言葉が聞こえず、ほうきで掃き、そうきんで拭くかすかな音しか聞こえてきません。そんな状況になってきています。東小の子どもたちの心は磨かれてきています。

⑩ 17「東小学校の参観会や懇談会、保護者面談等の期日や回数は適当である。(91.3%)

(児童評価 93.1%) 今年度は、1学期の参観会を1回減らしました。1学期には家庭訪問、保護者面談があり、教員と保護者のみなさんが顔を合わせて話す機会がもてていることから、6月と7月の参観会を合わせて行う形にしました。年間のバランスも考えたとき、概ね好評価をいただいているのではないかと思います。ただ、参観会に合わせて実施していたリレー会が、どちらか一方だけを参観会に当て、もう一回は平日に行うとすると平等を欠く恐れがあるということで、2回とも平日に実施することになりました。結果として、仕事の関係等で「見に行きにくくなった。」という声も聞こえてきます。また、リレー会については、その実施形態や回数も含めてご意見をたくさんいただきました。「保護者のみなさんの要望と学校の考え方」の項でも説明していますが、今後その在り方を検討していきたいと思います。

⑪ 25「お子さんのクラスは、安心して過ごせる温かい学級集団である」(90.5%)

(児童評価91.4%) 全学年単学級で、入学から卒業までの6年間をほぼ同じメンバーで過ごすとともに、全校の児童のほとんどがお互いに顔見知りであることは、いろいろな面で長所と短所があるかと思いますが、安定した人間関係の中で生活を創っていくということから考えると、子どもたちにとって安心できる環境があることは、過ごしやすいことだろうと思います。その基本単位である学級は、中でも大事な集団です。助け合い、励まし合い、ともに高め合う集団として、日々切磋琢磨していけるように、学校全体として、一人一人の子どもたちを見守り続けていきたいと考えています。普段の生活観察から「あれ？」と思うような子どもの表れ、通常と違う様子が見られたときは、すぐに声かけをして子どもたちの心の動きを逃さないように努めています。学期に1回ずつ設定されている「教育相談期間」には、一人一人の子どもと担任が話し合う時間をとっています。(全校の子どもたち5人ぐらいずつのグループで順番に給食を校長室で一緒に食べる期間を設け、一学期中に全員と給食を共にするという事も実施しました。) いつでも子どもたちが相談できる空気を作り出していくように努めます。問題が発生した場合は、迅速に対応するように努めるとともに、家庭にも報告・連絡して、連携して問題解決をしていけるようにしたいと考えています。



(2) 低評価だった項目(「あてはまらない」・「全くあてはまらない」の合計が30%程度の項目)

「3」「4」の合計が30%程度の低評価になった項目数は、4項目でした。

① 21「お子さんは、整理整頓や片付けができる。」(「3」「4」の合計が、45.2%)

(児童評価=できている~92.2%) 例年この項目が、お子さんと保護者の方の評価ポイントの差が一番大きい質問項目となっています。学校生活においては、一人のお子さんに割り当てられたスペースは大きくなく、机の中とロッカーくらいです。トイレスリッパの整とんも、保健給食委員会の呼びかけを中心とした取り組みによって意識が向上しています。限られたスペースに関して言えば、子どもたちが答えている通り、整頓できているということになると思います。一方、家庭に帰ると、自分の責任において整理整頓したり片付けたりする範囲は広がるでしょう。自分の部屋を自分の責任できれいにしなければならない環境の子どもたちも多くいると考えられます。そういった置かれた環境の違いが、評価の数字が大

きくかけ離れている理由かもしれません。もちろん、学校の限られたスペース（机の中の道具箱など）でさえ、整理整頓がなかなかできない子も確かに見られますので、効率的な学習ができるようにするためにも、引き続き整理整頓が習慣付くように指導していきたいと思いをします。

② **23「お子さんは、本に親しみ、自主的に読書をする習慣が身に付いている。」(30.4%)**

(児童評価＝できている～90.5%) 「週末読書」の取り組みに力を入れています。子どもたちは週末もなかなか忙しく、せっかくの休日で保護者の皆さんもゆっくりしたいところだと思いますが、この「週末読書」は、「ノーメディアデー」と並んで、テレビやゲームを消して親子で一緒に読書時間を共有する、という提案です。金曜日の放課後、ボランティアの保護者のみなさんが、「本の貸出業務」を行っていただくようになりました。金曜日に本を借りて土日に読む環境が整ったこととなります。ありがたいことです。家族そろって本を手にする時間があると、子どもたちへの定着も効果抜群だと思います。ぜひ、引き続き取り組んでください。学校では、図書館司書の先生を中心に様々な読書推進のための企画が行われ、子どもたちはそれらに喜んで取り組んでいます。図書室へ行く子どもたちの数もとても多くなっています。「ピンゴの鉄人」「伊豆市読書百選」「多読賞表彰」「読書貯金カード」等、様々な取り組みによってますます読書好きな子が増えていくことを願っています。ご家庭での援助をお願いします。

③ **19「お子さんのゲーム等の利用は、家庭での約束を守ってやっている。」(29.6%)**

(児童評価＝できている～93.9%) 前述の通り、ゲームをしない日～ノーメディアデーの取り組みを昨年度から呼びかけています。(毎月19日)なかなか難しいことかもしれませんが、少しずつゲーム時間を減らす、ということでチャレンジしてほしいと思います。そしてその時間を読書にあてていけるとなおさらいいかなと思います。

④ **9「お子さんは困ったときに教師に相談している。」(28.6%)**

(児童評価＝できている～87.9%) あえて相談するほどでもない、小さなことならば、先生に相談しないこともあるのかもしれませんが、学期に1回ずつ子ども全員を対象にした「教育相談」を実施していますが、その時には、日頃感じていることを素直に話しかけてくる子どもも多くいます。それ以外にも、日頃からの観察を通して「少しちがうかな」と感じる子どもの表れが見られたとき、こちらから声かけをするようにしています。気軽に相談できる雰囲気をつくるように努めていきたいと思いをします。



*この「1学期学校評価(保護者アンケート)のまとめ」については、別冊の「保護者の方からのご意見とそれに対する学校の考え」と合わせてお読み取りいただきたいと思いをします。また、それらに対してまたご意見がありましたら、学校へお寄せください。

修善寺東小学校 72-0420
(担当) 岩代 孝一